

昨年、12月9日の『2007人権フェスティバル』では、映画「典子は、今」に出演された白井のり子さんが、「あれから25年～今を大切に生きる～」と題してお話され、「どんな状況であろうと、今を大切に生きてほしい」「みんなでおぎないあうことが大切」と力強くお話されました。

自分らしく生きること

HANNAさん



白井のり子さん

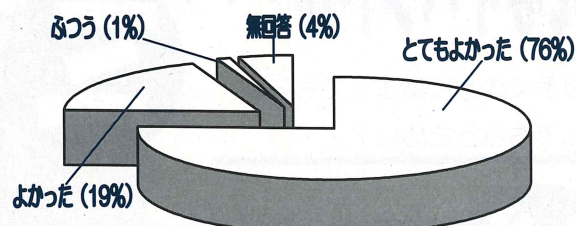
また、ゴスペルシンガーのHanna (はんな) さんの迫力あるコンサートも好評でした。

参加者の声

- 障害を持ちながら、二人のお子さんを育てられたお話に感動しました。今を大切に生きることを教えられました。(60歳代女性)
- 生きる力を分けてもらったような気がします。(20歳代女性)
- 体の不自由な人が、日頃何でもないようなことで困られていることを知り、あらためて人を思いやる心の大切さを感じました。(50歳代男性)
- ハンナさんの歌も良かったが、トークも良かったです。また、のり子さんの前向きな姿勢とそれ以上にお母さんの愛情や熱意、支援などのお話が良かったです。(40歳代女性)
- コンサートでは声量の大きさに感銘し、講演ではサリドマイド事件の怖さを思い出しました。(70歳代男性)

アンケート結果

(問) この行事に参加してよかったですか？



参加者数：460名 アンケート回答者数：251名

あなたも人権啓発推進委員になりませんか！

各地区で人権啓発を目的にいろんな行事が行われています。あなたも人権啓発推進委員になって、一緒に活動しませんか。興味をお持ちの方は、事務局または地区委員会の代表・副代表にお申込みください。

(再生紙を使用しています)

発行／吹田市人権啓発推進協議会

事務局：吹田市 自治人権部 人権平和室内 内

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

電話 06-6384-1539 FAX 06-6368-7345

E-mail jin_kent@city.suita.osaka.jp



じんけんネット吹田

No. 24

平成20年(2008年)3月

5月1日から7日までは

憲法週間です

日本国憲法は、昭和22年5月3日に施行され、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」の3つを大きな柱としています。

日本国憲法は、基本的人権を「おかすことのできない権利」として、国民に保障しています。しかし、自分の人権を守るためには、同時に他者の人権も大切にしなければなりません。

拉致問題の解決は、わが国の最重要課題のひとつです。日本と朝鮮半島の平和と安全を考える上で、今回の「憲法と市民のつどい」では、辺 真一 (びん じんいち) さんをお迎えし、ご講演いただきます。市民の皆さんのご参加をお待ちしています。

ご存知ですか？

吹田市立教育センター「光の森」

～人との関わりの経験を重ねて～

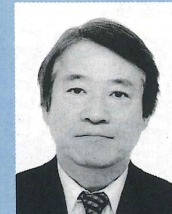
吹田市内の小・中学生の子どもの中で、学校へ行きにくくなった子どもたちが通ってくる「光の森」。主に、北千里にある青少年野外活動センターの「青年の家」を借りて月～金曜日、活動しています。



憲法と市民のつどい

平和と人権を守るために

心の国際化とは



びん じんいち
辺 真一 さん
ジャーナリスト
コリア・レポート編集長

2008年 5/31(土) 午後1時30分～4時00分
メインアター 中ホール

自分をゆっくり 見つめてみよう

うえのやま さちよ
上之山 幸代 さん
学校心理士、アルパ奏者
(アルパ：南米のハープ)



コンサート

午前中は学年ごとに学習。学習支援の先生やボランティアの学生フレンドに横についてもらってゆっくり学習を進めています。



午後は広々とした公園に散歩に出かけたり、スポーツを楽しんだり、フレンドからギターを教えてもらう人もいます。小集団の活動の中で、少しずつ人との関わりの経験を重ね、エネルギーを蓄えていくことができます。学校と連携し、部分登校にチャレンジする人もいます。中学三年生の子どもとは進路について一緒に考えていきます。また、家庭から出にくい子どもには、フレンドの訪問活動を行い、保護者と相談しながら支援を進めています。

吹田市立教育センター 研究員 柏谷 靖子

地区委員会の取り組み

人と人との

ふれあい が 大切 です

各地区委員会では、たくさんの人と人がふれあえるように、工夫を凝らした取り組みを行っています。

音楽

音楽には、人々の心を癒したり、勇気や元気を与える不思議な力があります。

～アンデスに響く歌声～

出演：ロス・チャンカスさん
(フォルクローレグループ)



ペルーの人々の生活等のお話とともに、南米民族音楽である「フォルクローレ」にふれることにより、国際理解を図ることができました。

(豊一地区委員会より報告)

馬頭琴と
モンゴル民謡
のひととき

出演：ホトランガさん(馬頭琴奏者)
鷲野 彰子さん(ピアノ奏者)



多民族で構成されている国「モンゴル」。その歴史・経済などの話を聞いて、人と人の関わり大切さは何かを考えさせられ、それぞれが尊重しあい、協力しあって生きることの大切さを再確認しました。また、モンゴルの民族楽器である「馬頭琴」の音色に心が癒されました。

(片山地区委員会より報告)



敬老会で・・・

小学生が手話コーラスを学び、障害をもつ人々との交流を図ることができました。また、地区敬老会で手話コーラスを発表し、多くの高齢者に喜んでいただきました。

(山手地区委員会より報告)

～手話コーラス～

参加者は、手話とコーラスを組み合わせ、手話への理解を楽しみながら、覚えることができたようです。その成果を公民館文化祭で発表し、たくさんの観客に感動をあたえました。

(吹一地区委員会より報告)

▼リハーサル風景

文化祭で・・・



餅つき

各地域では、日本の伝統文化の「餅つき」を実施し、子どもから高齢者まで多くの方が集まり、交流を深めています。また、その中には、外国人の参加もあり、日本の文化を通じて、世界のいろいろな人々と草の根の交流も広がっています。



吹一地区委員会

親子の絆や地域のコミュニケーションも深めることができました。

(佐竹台地区委員会より報告)



千一地区委員会

子どもたちが、餅つきを体験し、日本の伝統文化にふれることができました。また、各種団体が協働することで、コミュニティの輪が広がりました。

(山二地区委員会より報告)



山手地区委員会

※「協働」：複数の主体が、目標を共有し、ともに力をあわせて活動すること

こんなイベントが・・・

より多くの方に集ってもらい、楽しんでもらうために・・・

ド



慎重に
落ち着いて！



うまく
倒れるかな！

大人から子どもまでが、一緒になって「ドミノ」を並べ、異世代の交流や地域内の交流を図ることができました。「ドミノ」の特性から幼児・小学生・中学生・大人・高齢者・先生が同じ目線で参加することができ、体格・年齢などを感じさせない、非常に和気あいあいとした笑顔があふれるふれあいが生まれました。

(北山田地区委員会より報告)